



4R YCE 委員報告

4R YCE 委員 尾山 剛

*冬期派遣生帰国報告会が2月20日(日)名古屋キャッスルプラザで行われました。一回り大きくなった3名の派遣生はそれぞれの思い出を語ってくれました。



クロアチアに派遣した
神谷 知 君



マレーシアに派遣した
乗松 拓弥 君 (父代行)



マレーシアに派遣した
下甕町 友里 さん

*マレーシアから来日した、ジア・リンさんは1月7日(金)無事帰国しました。



日本では、ホストファミリーL村松 正徳(岡崎ライオンズクラブ)にいろいろと日本の素晴らしさを学んで、元気でマレーシアに帰りました。

NAME	Lim Jia Ling	ID No.	MLJ – 50
SPONSOR CLUB	Pantai Hill Lions Club	District	334 – A
CITY of STAYING	Okazaki City Japan	Period	2010/12/15 ~ 2011/1/8
HOST CLUB	Okazaki Lions Club		

Coming to Japan is like a dream come true, I have always been dreaming to visit Japan and it has finally come true, thanks to Lions Club.

I choose to come Japan because of this country's unique culture.

It was a wonderful experience! I tried many things and explore lots of interesting culture during my stay in Japan.

Through this youth exchange programme, I learn to get along with people from worldwide, understand more about other country and I believe now i had become more independent than before.

Thanks to Lions Club and my host family for taking such a good care of me and being so kind to me.



I am so glad i get to live a Japanese life. During my homestay, I travelled to many incredible places like Tokyo Tower, Akihabara, Nara, Golden Pavillion, Kiyomizudera Temple, Universal Studio in Osaka, Komagane and more.

Besides that, i also get the chance to dress like a maiko and walk in a shrine in Kyoto, eating raw fish and seeing

snow for the first time, making my own soba, visited Sony and miso factory, experience tea ceremony, make my own flower arrangement (ikebana), travelled by a shinkansen, playing Japanese card games, celebrate christmas and New Year in Japanese style.

In this winter, I also get to understand more about Japanese art. I am glad that I tried kimono painting during winter youth camp. My host family also brought me to komagane art museum, kimono museum and also kodomo museum in Okazaki.

I think kodomo museum is an interesting place where children can show their talent and their art work is really amazing. It shows that age is not a limit.

During my stay, i also enjoy eating Japanese food very much. I tried sukiyaki, okonomiyaki, takoyaki, gyudon, mochi, rice burger, japanese curry and many many more which i forget their name. =D

Of course, during my stay i am also glad that i get to introduce about my country, Malaysia to everyone in Japan. For the first time, I cook Malaysia food for my host family and also introduce some traditional snacks like dodol with durian flavour to them. It's really interesting to see their reaction after eating the food especially dodol.

Last but not least, many thanks Lions Club, my host family, YCEF Kaede Inden and Miss, Murota and everyone I met in Japan once more. I really appreciate it and I will never forget this wonderful experience and memories that everyone gave me. For sure in future, I will definitely want to visit this beautiful country again!

本当にありがとうございました!



私は、以前から日本に行くことを希望していたので、それがかなったことがまるで夢のようです。ライオンズクラブの皆様ありがとうございます。

私は日本の独特な文化に惹かれてこの国を派遣先を選びました。そのため、日本滞在中は興味のあることをたくさん発見するためにいろいろなことに挑戦してきました。

YE 事業を通して世界中の友人とともに学び、よりお互いの国を理解できました。この経験によって私は以前よりも自立することができたと感じています。

ライオンズクラブの皆様、ホストファミリーの皆様には大変よくしていただき、また親切にさせていただいき本当にありがとうございます。

私は日本の生活を経験することができて本当に嬉しいです。ホームステイ期間中には東京タワー、秋葉原、奈良、金閣寺、清水寺、ユニバーサルスタジオジャパン、駒ヶ根などたくさんの場所を訪れることができました。

その他にも、舞子さんの衣装を着て京都のお寺を歩いたこと、初めて雪を見たこと、刺身を食べたこと、そばを打ったこと、SONY や味噌工場の見学をしたこと、茶道、生け花、新幹線に乗って出かけたこと、日本のカードゲームをしたこと、クリスマスや正月を日本流に祝ったことなどを経験することができました。

私は、この冬日本の美術についても理解することができました。ユースキャンプでは、着物を描くことに挑戦しました。ホストファミリーは駒ヶ根では美術館と着物の美術館に、岡崎では子ども美術館に連れて行ってくださいました。

子ども美術館は、子供たちの才能の見ることができ、彼らの作品には本当に驚きました。年齢に限界はないのだと感じることができました。

滞在中、たくさんの日本食を楽しみました。すき焼き、お好み焼き、たこ焼き、牛丼、餅、ライスバーガー、カレー、他にも名前を忘れてしまったものまでたくさんの日本食に挑戦しました。

もちろん、滞在中に日本のみなさんに私の国マレーシアを紹介できたことも嬉しかったです。ホストファミリーにはマレーシア料理を作り、伝統的なスナックでドリアン風味の Dodol (タフィーのようなもの) をふるまいました。Dodol を食べたときの皆さんの反応がすごく面白かったです。

最後になりますが、ライオンズクラブの皆様、ホストファミリー、YCEF の因田楓さん、室田さん、日本で出会ったすべての人々、本当にありがとうございます。皆さんが下さったこの素晴らしい経験と思い出を私は決して忘れません。近い将来、私はこの素晴らしい国を再び訪れたいと思っています。本当にありがとうございました！（日本語）

翻訳 YCEF 室田 真美

氏名	神谷 知		ID No.	CR-2
スポンサークラブ	岡崎南ライオンズクラブ		地区	334-A 地区
派遣先	クロアチア	期間	12月20日～1月12日	
ホストクラブ				

今回クロアチアに派遣させていただきました。クロアチアに向かう飛行機の中から今回の海外派遣が始まりました。隣に座っていたのが19歳のフランス人女性で彼女と日本の漫画や映画について英語で話せたことが旅のスタートとしてとてもよかったです。彼女に日本で困ったことを尋ねてみると、「日本人の英語力の低さに驚いた。コミュニケーションをとるのがとてもたいへんだった。」と言っていたのが印象的でした。雪の影響でフランクフルトからクロアチアに向かう飛行機がなかなか飛ばず待機していた経験もなかなか味わえない貴重な体験になりました。



最初のホストファミリーは5人家族で、その中の17歳の男子高校生ミスラブとはいろいろなところに遊びにいきました。彼の学校や町、バーやカフェにいきました。驚いたのは、高校生でもみんな大人びているということでした。多くの子が幼いころからタバコや酒をやるのが普通だと教えてくれました。しかし日本人の僕に対していつもフレンドリーで優しくかったです。彼らと一緒にクリスマスを過ごし、異なる文化と習慣を知ることができました。

ホストファミリーとの一番の思い出は食事です。私が滞在していたヴァラジュディンは田舎町ということもあり自家製の材料をふんだんに使った家庭料理を毎日作ってくれました。ホームメイドのワイン、ソーセージ、ケーキ、チーズ。今まで食べたことのないような味で美味しいものや、日本人には口に合わないものもありましたが、西洋の食文化に触れられて面白かったです。でもクロアチア料理はほとんど肉なので野菜が恋しくなりました。

二つめの滞在地であるオパティアでの毎日は本当に楽しすぎるものでした。ホストは奥様を亡くされた元大学教授でお城のような大きな家に一人で暮らして、三階フロア全てを好きに使って良いということとても快適に過ごせました。

ほとんど毎日異なる LEO クラブの人たちに会い、町を散策してお昼を食べ、カフェにいき1日が終わるという何気ない日々でした。しかしそのカフェでの時間が私にとってはとても有意義なものでした。クロアチア人はカフェが大好きで、ほとんど毎日行き、そこで何時間も話します。そこで日本に対する様々な質問に答えたり、逆に彼らの習慣や考えを教えることは日本には絶対にできない経験でした。しかも会話はすべて英語だったので互いにジョークを言って笑いあえたりしてコミュニケーション力に自信も持てました。クロアチアは歴史上翻弄されてきた関係でほとんどの人が母国語ときれいな英語を話してくれ大変助かりました。そのとき感じたことは日本人はおとなしすぎて自分のことを話さないというイメージを持たれているということです。でもその彼らに「お前はよく話すし、全然シャイじゃないから日本人じゃないな？クロアチア人だろ(笑)」と言われ、たいへんうれしく思いました。



今回の学んだことは外国人とコミュニケーションをとるとき英語力は当たり前であるということ。そして相手の国と自分の国のことをどれだけ知っているか、自分の個性がどれだけ大切かということです。

このようなたいへん貴重な体験をさせていただいたライオンズクラブのみなさま本当にありがとうございました。

氏名	乗松拓弥		ID No.	ML-12
スポンサークラブ	愛知中央ライオンズ		地区	334-4R
派遣先	マレーシア	期間	12月20日～1月10日	
ホストクラブ				

今回、マレーシアに派遣させていただきました乗松拓弥です。このような機会を与えてくださったライオンズの皆様にとっても感謝しています。

ホームステイ先は、クアラルンプールまで車で2時間程かかるイポーという場所でした。イポーはクアラルンプールにつぐ都市と聞いていましたが、クアラルンプールほど都会ではなくとても自然豊かで良いところでした。

ホストファミリー宅には同じ高校生の男の子がいたので、とても幸運でした。会話はもちろん英語でしたが、年が近かったためすぐに意気投合しました。慣れない英会話に、最初はとても苦労しましたが、次第にコミュニケーションがとれるようになりました。

色々なところに連れていってもらいましたが、ペナン島は特に楽しく感じました。ここはマレーシアの離島ですごく長い橋でつながっています。寺の頂上に上っていく階段の脇にはたくさんの店が並んでいて、とても安かったので買い物が存分に楽しめました。その後ゴンドラで頂上まで登ると、ペナン島の町が一望でき、その美しさに感動しました。

現地の学校の授業に参加させてもらったのも、とても貴重な体験になりました。現地の高校生達はとても日本に関心があり、中でも日本の漫画は大人気で、たくさんの質問を受けました。マレーシアの人たちは初めて会った僕にもフレンドリーに接してくれて、たった1日だったけれどもとても仲良くなれました。帰国した今も、PC上のコミュニティーサイト(facebook)を通して交流を続けています。

僕がマレーシアに行ってもまず驚いたことは、日本の会社がたくさんあり、日本製品がとても支持されているということです。カメラや小型ゲーム機をはじめとした電子機器、車やバイク、エレベーターまでたくさんの日本製品がありました。現地の品物に比べて値段は高いのによく買われているようです。次に、食文化に関する違いです。マレーシアでは外食が主流のようで、僕もほとんど家では食べませんでした。その理由は、値段がかなり安くてとても美味しいからだと思います。日本の3分の1くらいの金額でおいしく、お腹いっぱい食べられることに驚きました。ただ、お世辞にも衛生面が良いとは言えず、食べ終わった後の骨などを机に直接置く、という習慣には最後まで慣れることができませんでした。また、時間の感覚が日本よりルーズで、日本にいる時と比べてゆったり過ごせました。

下の写真は、牧場にいる猿ととったものですが、野生の猿もたくさん見かけました。もう1枚は2つ目のホストファミリーと一緒に出かけた時に記念にやらせてもらった、絵付けの写真です。

今回、このマレーシア留学を通して多くのことを体験することができました。この体験から英語の大切さを実感したので、これからもっと勉強して、どんどん海外に出ていけたらと思います。



氏名	下甌町 友里	ID No.	ML-13
スポンサークラブ	愛知中央ライオンズクラブ	地区	334-A 地区
派遣先	マレーシア	期間	2010. 12. 20~2011. 01. 10
ホストクラブ			

はじめに、愛知中央ライオンズクラブの皆さまをはじめとするライオンズクラブの皆さま、今回のような貴重な体験の機会を与えてくださって本当にありがとうございました。私は、今回の派遣を通して、たくさんの人に出会い、日本では体験できないような3週間を過ごすことができました。

私にとってマレーシアという国は、とても素敵な国でした。

私の1番目のホストファミリーは Ipoh という町に住んでいました。Ipoh は KL から車で2時間ほど南にのぼった場所にあります。Ipoh は White Coffee や、Pomelo というフルーツが有名な町です。White Coffee は豆を煎る段階からミルクと砂糖を混ぜて作るのので、甘いコーヒーです。私は元々コーヒーも甘い食べ物も好きなので White Coffee は最高でした！ですが、それ以上だったのは…Pomelo です！グレープフルーツのような果物です。味は酸味の強いもの（赤い果肉）甘いもの（黄色い果肉）の2種類があり、私は甘いほうが好きだったので、ぜひマレーシアに行く機会がある方は Ipoh の Pomelo を食べてほしいです！！

Ipoh の家族は5人（+犬）家族で、一番上のお姉さんは福岡に派遣生として日本に行っていたので会えませんでした。家族の仲がすごく良かったです。また毎日新しいことに挑戦させてくれました。ママの仕事はラインダンスの先生で、ママの仕事について行った時はラインダンスに挑戦しました。私には難しかったのですが、楽しかったです。また娘さんにはマレーシアの学校のこと、文化等を教えてもらいました。必須で英語、マレー語、中国語があると聞いた時、学校のテスト問題を見せてもらった時には「こんなにたくさんの言語を勉強するの?!」と驚きました。

2番目の家族は6人家族で、KLに住んでいました。KLでは渋滞の多さに驚きました。ジャスコから出るために1時間半近く立体駐車場で渋滞に巻き込まれた時は、本当にびっくりしました。また、一般道では70キロで走るのが普通らしく、道の途中に減速目的の段差がたくさんあり、日本では見られないものがたくさんあったので、新鮮でした。

驚きの連続でもありましたが充実した3週間でした！たくさんの素晴らしい経験をさせていただき、ライオンズクラブの皆さまには本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました！

Pomelo♥



1番目のホストファミリー
Chong Family



2番目のホストファミリー
Chong Family



ユースキャンプ
ジャングル探検?